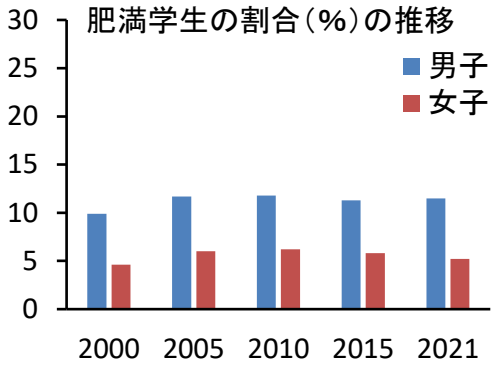
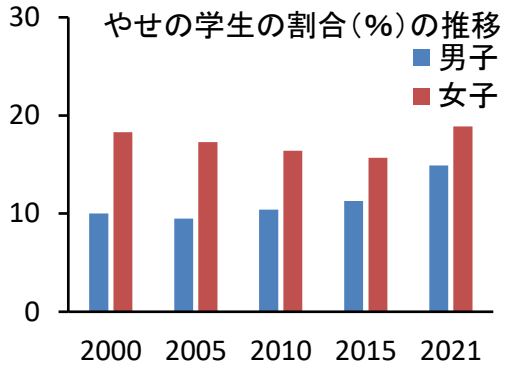
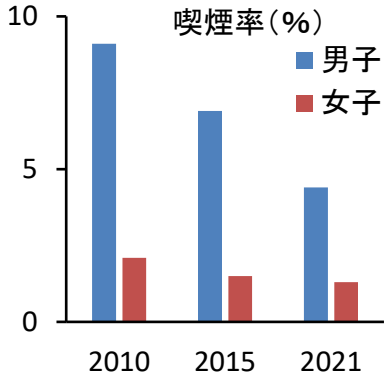
学生の健康白書2026

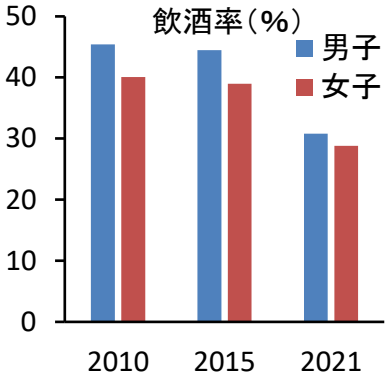
全国の国立大学法人の保健管理センターが共同して、5年毎に定期健康診断のデータを集計し、10年毎に「学生生活アンケート」を行い、学生の健康白書を作っています。今回はこの両者の調査を行います。大学生と大学院生の精神・身体の健康状態を把握して、よりよい健康管理のための基礎的な資料を提供することが目的です。過去の健康白書はインターネット上に公開されています。（http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/hokenkanri/hakusho/）

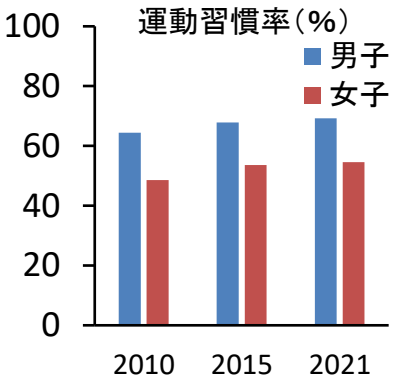




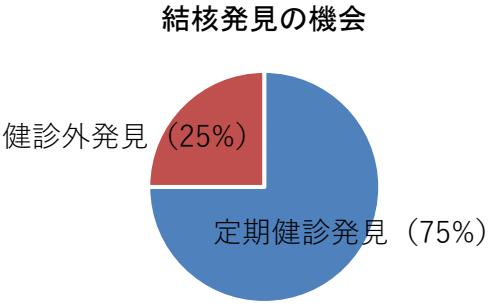
男子、女子ともに近年はやせが増加している。



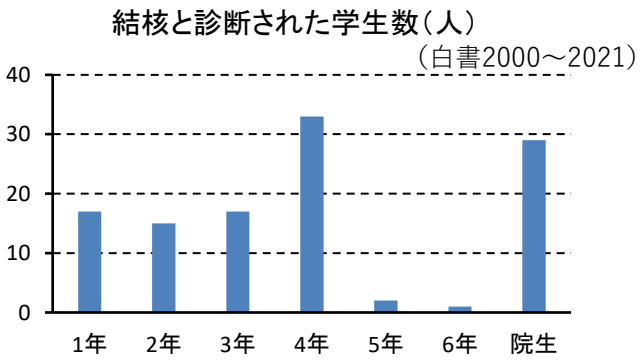




喫煙や飲酒をしない学生が増え、運動する習慣のある学生は増えている。



結核の多くは定期健康診断で発見される。



結核は高学年でも発見される。

健康白書の作成には、氏名、生年月日など個人を特定できる部分を削除したデータが用いられます。文部科学省および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいており、名古屋大学医学部生命倫理審査委員会の承認を受けています。もし、あなたの情報が集計に用いられることについてご了承いただけない場合は除外しますので、お申出ください。不利益が生じることはありません。但し、研究事務局（名古屋大学）でデータが集計されて以降は除外することはできません。

一般社団法人　国立大学保健管理施設協議会
（問い合せ先：滋賀大学保健管理センター）